

製品含有化学物質調査 代行サービス

使用部品の含有化学物質調査から
製品の環境データ作成まで調査業務を代行いたします。

環境負荷物質調査

- REACH調査
- RoHS調査
- IMDS調査



製品開発のトータルコーディネートが可能

Wave Technology (WTI) には、製品開発で必要となる全ての設計部隊（電気、機構、基板、ソフト）が揃っており、これらを一括で受託し社内で綿密に連携して設計を進めるため、デザイン、コスト、性能などを最適化した製品に仕上げることが可能です。

また、位置検出、ワイヤレス給電、信号処理、画像認識、AIなど近年の製品開発でニーズの多い要素技術についても社内外のネットワークを活用し製品に組み込むことが可能です。

Technology

Service

- FPGA、MPU周辺
- 高周波、アンテナ
- 電源

電気

- 防水設計
- 軽薄短小化

機構

- 高密度基板
- 多層基板
- モジュール基板

基板

- ファームウェア
- PCアプリ

ソフト

- 熱解析
- 応力解析
(落下、衝撃、振動)
(温度サイクル)

解析

技術コンサルティング
技術者教育サービス

Techno Sherpa
テクノシェルパ

「Techno Sherpa」とは、
株式会社Wave Technologyの技術コンサルティング・技術教育のブランド名です。

ワイヤレス
給電

- コイル設計
- システム提案
- 評価提案

リバース
エンジニア
リングPlus

- 回路図復元
- X線解析
- パターン計測

カスタム計測
システム設計

- 評価の自動化
- データ解析の自動化

EOL対策
(生産中止部品)

- 代替調査
- 設計変更
- 評価検証

保有
設備

- 電波暗室レンタル
(EMI対策検証)
- 防水試験機レンタル
(防水コンシエルジュ)

その他

- 技適(無線)の事前評価・申請代行
- 環境負荷物質調査の代行**
- LSIパッケージ評価解析

お客様

目次

- 1.製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査とは
- 2.代行サービスの内容
- 3.製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査の流れ
- 4.主な規制の動向とサービス概要

製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査とは

地球環境や人体に悪影響を及ぼす可能性がある物質の禁止，抑制，管理を目的に、製品に含有する化学物質を調査し報告するものです。製品を構成する各部品に含まれる物質と使用量を明確にして、悪影響を及ぼす物質を管理することで、そのために供給する部品メーカー様に含有物質の調査を依頼し、その結果が規則に準じているかを確認するものです。



近年、化学物質による環境や人体への影響を懸念し、化学物質の規制や管理の強化が高まっています。対象となる規制にはEU-REACH規制、EU-RoHS指令、ELV指令などがあります。最近では環境対策に積極的に取り組む企業がクリーンで良い企業と捉えられ、中小企業を含めた多くの企業が製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査に取り組んでいます。

しかし、製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査を行う上で、以下のようなことでお困りのお客様が多いのが実情です。

- ・製品含有化学物質調査の方法がわからない
- ・製品含有化学物質調査に手間がかかる
- ・製品含有化学物質調査の人手がたりない
- ・製品含有化学物質調査が設計開発技術者の負担になっている
- ・部品メーカー様やサプライヤー様に調査を依頼しても規制の内容を理解しておらず、説明に時間を費やす
- ・部品メーカー様やサプライヤー様に調査を依頼しても、なかなかデータが出てこない
- ・お客様独自の環境情報調査様式で製品含有化学物質調査を依頼したいが代行する企業がない

そのようなことでお困りの際は、ぜひWTIにご相談ください。

WTIでは、このようなお客様の声にお応えし、様々なタイプの製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査の代行サービスを行っております。

WTIでは長年培った製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査の経験があり、各規制内容にも精通しています。またIMDS調査も実績があり、車載部品の製品含有化学物質調査にも対応できます。

代行サービスの内容

- ・ WTIの代行サービスには、以下の3つがございます。
- ・ 部品メーカー様へ調査を依頼し環境情報報告書を作成いたします。
- ・ お客様からご提供された、部品の環境情報データと部品構成情報に基づき、部品の環境情報をchemSHERPAやIMDSに入力し、製品として複合化した環境情報報告書を作成いたします。
- ・ JAMP-AISやJAPIAシートのデータをchemSHERPAやIMDSへスキームデータ変換いたします。

規則・指令	調査用 基本スキーム	代行サービスの種類		
		部品メーカー様に調査を 依頼し 環境情報報告書を作成	お客様のご提供情報に基づく環境情報 報告書作成	スキームデータ 変換
REACH RoHS	chemSHERPA	○	○	JAMP-AIS JAMP-MSDS plus, JAPIAシート ⇒ chemSHERPA
ELV	IMDS	○	○	JAPIAシート ⇒ IMDS
お客様 ルール	お客様の 調査フォーム	○	○	ご相談ください

<各種サービス>

- 環境負荷物質調査代行サービスの詳細は[コチラ](#)からご覧ください。



- 紛争鉱物調査代行サービスの詳細は[コチラ](#)からご覧ください。



- 成分分析サービスの詳細は[コチラ](#)からご覧ください。



- よくあるご質問の詳細は[コチラ](#)からご覧ください。



製品含有化学物質調査・環境負荷物質調査の流れ

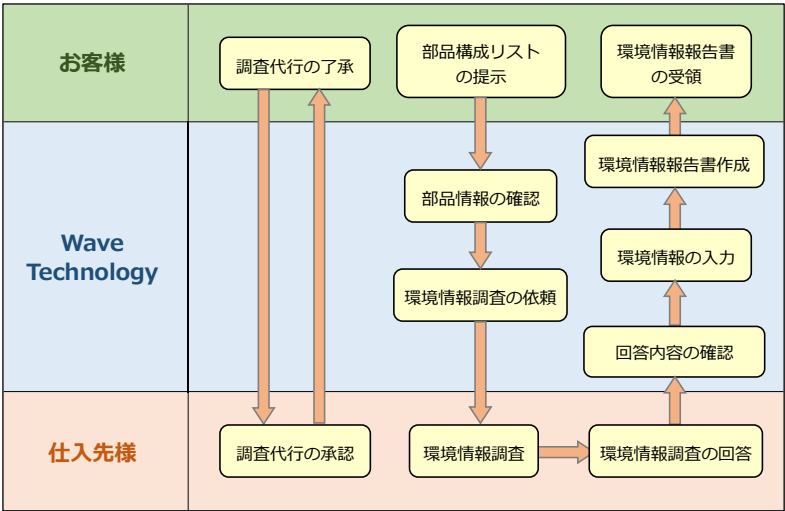
1. 部品メーカー様へ環境負荷物質調査を依頼し環境情報報告書を作成

お客様から製品の構成部品情報をご提示いただくだけで、部品メーカー様への環境負荷物質調査依頼、回答内容の確認、製品の環境情報報告書作成まで一連の調査をお客様に代わり対応いたします。

<調査の流れ>

<ご準備いただくもの>

- ・ 部品図面、材料情報
- ・ 部品構成リスト



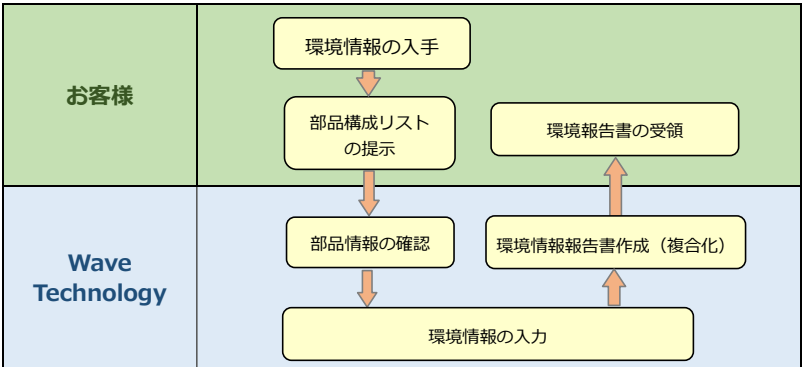
2. お客様のご提供情報に基づく環境情報報告書の作成

お客様からご提供された、部品の環境情報データと部品構成情報に基づき、部品の環境情報をchemSHERPAやIMDSに入力し、製品として複合化した環境情報報告書を作成いたします。

<調査の流れ>

<ご準備いただくもの>

- ・ 部品図面、材料情報
- ・ 部品構成リスト
- ・ 環境情報（メーカー様の環境情報のシステム入力する場合のみ）



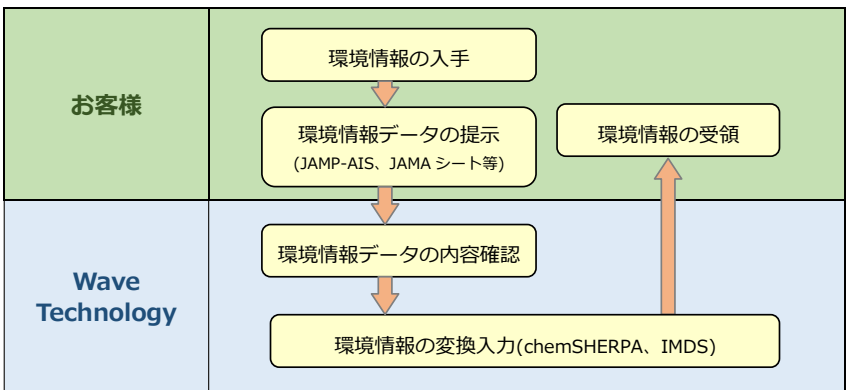
3. 各種スキームデータの変換

旧スキームで作成された部品メーカー様の環境情報報告書を新しいスキームに変換いたします。

<ご準備いただくもの>

- ・ 環境情報データ

<調査の流れ>



主な規制の動向とサービス概要

1. EU REACH規則 (Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)

REACH規則は、EU域内で販売される化学物質について、登録、管理するものです。
対象のSVHC（高懸念物質）は2024年11月（第31次）時点で242物質となり、今後も増えます。

WTIでは、部品メーカー様やサプライヤー様に対してお客様独自の環境情報様式chemSHERPA等で調査を依頼し、ご提出いただいたデータを確認し、chemSHERPA複合化する代行サービスを提供しております。

※ chemSHERPA(ケムシェルパ):サプライチェーン全体で製品含有化学物質情報を適正に伝達するため、経済産業省主導で運用されている標準スキームである。従来は複数の標準スキーム(JAMPなど)が存在し、更に各企業独自の様式も多様されていたため、経済産業省はchemSHERPAへの統合を推奨している。

<chemSHERPA様式例>



2. EU RoHS指令 (Restriction of Hazardous Substances)

EU RoHS指令は、電子・電気機器を対象に危険物質を制限するために欧州連合(EU)から交付されたものです。

制限物質は、従来の6物質に加えケーブルの被覆等の軟質ポリ塩化ビニルの可逆剤に使われるフタル酸エステル類4物質が追加され、合計10物質になりました。(2019年7月22日から)

以前の制限物質		追加制限物質	
制限物質	鉛 (Pb)	+	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (DEHP)
	水銀 (Hg)		フタル酸ブチルベンゼン (BBP)
	カドミウム (Cd)		フタル酸ジ-n-ブチル (DBP)
	六価クロム (Cr6+)		フタル酸ジイソブチル (DIBP)
	ポリ臭化ビフェニール (PBB)		
	ポリ臭化ジフェニール (PBDE)		

また、調査様式の標準スキームは、従来のJAMP-AISからchemSHERPAに変わっています。

WTIではRoHS指令に準拠して部品メーカー様やサプライヤー様に対して、RoHS適合証明書の提出依頼や製品含有化学物質の調査を依頼し、提出いただいた内容を確認してchemSHERPAやIMDS等の環境情報報告書を作成しお客様にご提出する代行サービスを提供しております。

お客様で独自に取り決めた環境情報様式がある場合は、その様式で対応することも可能です。

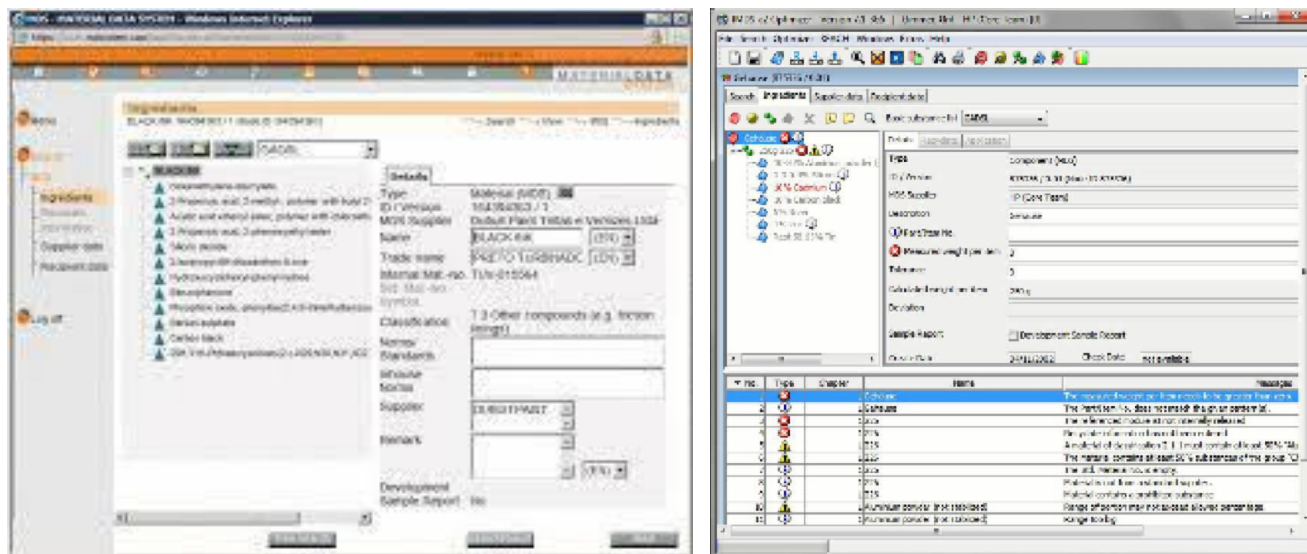
主な規制の動向とサービス概要

3. IMDS調査 (International Material Data System)

自動車関連のELV指令（End of Life Vehicles）対応として、自動車部品はすべての構成物質成分調査と報告が求められ、対応する自動車メーカー様が増えています。

WTIではIMDSの専門家がお客様に代わって部品メーカー様やサプライヤー様に調査を依頼し、ご要求に応じてJAPIAシートやIMDSへ登録、作成してご提出する代行サービスをご提供しております。また、JAPIAシートのデータをIMDSに変換する代行作業も対応いたします。

<IMDS様式例>



4. 紛争鉱物調査代行サービス

2010年の米国金融規制改革法（ドッド＝フランク法）の施行と企業のデュー・ディリジェンス（企業などに要求される当然に実施すべき注意義務および努力のこと）の高まりから、CMRTやEMRTという統一フォーマットを用いた紛争鉱物調査を行う企業が増えております。

WTIでは専門のスタッフがお客様に代わってサプライヤー様への調査依頼や製品のCMRT・EMRTを作成する代行サービスをご提供しております。

＜CMRT(Declaration)のイメージ＞

[illegible]

＜CMRT(Smelter List)のイメージ＞

Smelter Identification Number (1 column)	Material	Smelter Look-up (7)	Smelter Name (3)	Smelter Country (5)	Smelter Measurement	Source of Smelter Measurement Number	Smelter Short
000000019	Zn/Pb	Asia Chemical Industries Co., Ltd.		JAPAN	CID000019	RMS	Purcho
000000040	Zn/Pb	Asahi Paper Corp.		JAPAN	CID000040	RMS	Take
000000062	Zn/Pb	Asahi Kasei Co., Ltd.		JAPAN	CID000062	RMS	Yam
000000066	Zn/Pb	Chugai Mining		JAPAN	CID000066	RMS	Chugai
000000087	Zn/Pb	Nishida Metal Industry Co., Ltd.		JAPAN	CID000087	RMS	Osaka
000000087	Zn/Pb	JT Nippon Mining B. Metals Co., Ltd.		JAPAN	CID000087	RMS	Osaka
000000119	Zn/Pb	Maruoka Sangen Co., Ltd.		JAPAN	CID000119	RMS	Ikoma
000000148	Zn/Pb	Washibara Materials Corporation		JAPAN	CID000148	RMS	Yokohama
000000149	Zn/Pb	Wakana Mining and Smelting Co., Ltd.		JAPAN	CID000149	RMS	Yokohama
000000159	Zn/Pb	Industri Mineral Co., Ltd.		JAPAN	CID000159	RMS	Nagasaki
000000196	Zn/Pb	Eurochem Metal Mining Co., Ltd.		JAPAN	CID000196	RMS	Beppu
000000173	Zn/Pb	Yamada Chemicals Tokyo K.K.		JAPAN	CID000173	RMS	Minamiguchi
000000003	Zn/Pb	Tokoro		CHINA, REPUBLIC OF	CID000003	RMS	Wen
000000017	Zn/Pb	Yoshikawa Metal Co., Ltd.		JAPAN	CID000017	RMS	Yaguchi
000000402	Fe	Dow		JAPAN	CID000402	RMS	Kanagawa
CID0001108	Fe	Malaysia Smelting Corporation (MSC)		MALAYSIA	CID000108	RMS	Selangor
CID002773	Fe	Hevels Belgium N.V.		BELGIUM	CID002773	RMS	Beersel
CID0001173	Fe	Vimontec Tubaco S.A.		BRAZIL	CID000173	RMS	Barro Branco
CID0001182	Fe	Minur		PERU	CID000182	RMS	Peru
CID0001191	Fe	Washibara Materials Corporation		JAPAN	CID000191	RMS	Yokohama
CID0002017	Fe	O.R. Manufacturing Philippines, Inc.		PHILIPPINES	CID0002017	RMS	Marikina

[Revision](#)
[Instructions](#)
[Definitions](#)
[Declaration](#)
[Smelter List](#)
[Checker](#)
[Product List](#)
[Smelter Look-up](#)

お問い合わせ先

■ Webでのお問い合わせは[コチラ](#)からお願いします。



■ メールでのお問い合わせは[コチラ](#)からお願いします。
(tech@wti.jp)



■ 各種サービスは[コチラ](#)からご覧下さい。



■ 弊社サービスの動画は[コチラ](#)からご覧下さい。



本社

〒666-0024

兵庫県川西市久代3丁目13番21号

TEL 072-758-2938

東京事業所

〒185-0013

東京都国分寺市西恋ヶ窪2丁目2-5 西国分寺JRTビル3階

TEL 042-401-0470

